

2020年東京オリンピック競技大会対策

2015年度 ジュニア SS (Super Swimmers) 育成合宿について

平成27年7月14日

競泳委員会

オリンピック・リオ大会、東京大会に向けての土台作りの一環として定期的なジュニア選手の合宿を実施する。合宿のテーマは「基本を正しく大切に」とし、泳法の基本、トレーニングの基本を重視した内容として実施。あわせて、研修会を行いコーチと選手の理論的なレベルアップを図る事も目的の一つとする。

① 対象大会：全国中学、インターハイの決勝レースのみとする。

【理由】勝負は決勝で決まるため、一発勝負の中の一発勝負とする。また、勝負の世界を厳しいことを体験しながら成長してもらうことに重点を置きたい。予選に強く、決勝に弱い選手は最終的に勝負に弱いと思われる。よって、予選より記録を0.1秒でも挙げられる選手になってほしいためである。

※ 中1に限り、突破者がいなかった場合、J0での突破者かランキング1位の者を選考する可能性がある。

② 参加対象：中学1年～高校3年までのナショナル記録突破者と担当コーチ（参加希望者）。

③ 記録の公認期間と追加突破者の扱い

(1)の大会における記録の突破者は、翌年6月までの合宿に参加の資格を有する。また、追加選考として、2016年日本選手権・ジャパンオープンで記録を突破した者に限り、それ以降の合宿に参加する資格を得ものとする。突破タイムは新学年のタイムとする。ただし、(1)の大会が実施されるまでの期間に限定される。

④ 希望者のみの参加とし、アンケートにより調査する。

⑤ 合宿日数は3泊4日/月とし、1月は4泊5日とする。合宿は10月よりスタートするが、合宿日程および合宿場所については、9月に発表する。